文鳳山水畫譜

全



文鳳山水遺稿序

京師之畫一變於圓翁而再變於吳叟大抵主輕纖嬌饒一時匠手多焉依之而岸子獨以粗豪之筆對壘不下而文鳳山人踵

趣別樹一幟本於山岸氏之粗豪而和以圓筆之纖穠至其結搆則出於自己之經營連洗刷瀝盡無報觀其筆以成一種蒼古勁鍊之風是作家所無而山人之

詩獨造也畢圖環郭詳勝
為世所傳稱然猶掣肘於寫
貌未能大傾寫胸臆此卷乃
為覓兜際絕筆將三絕於
樹開合變化悠情縱筆寫
極能事直足豐學者行里

也前後諸因書肆文淵堂主
人之嘱而作此巻成堂主已沒
其子繼志謀上之梓請予
一言予與山人及令嗣稿鳳
素知又識堂主父子故不辭焉
書嗚呼嘱畫之人與受嘱之

人諸言容在目佃何陳迹象
多得不援筆悵然乎
文政辛巳小春十五九日山陽
外史題

頼襄







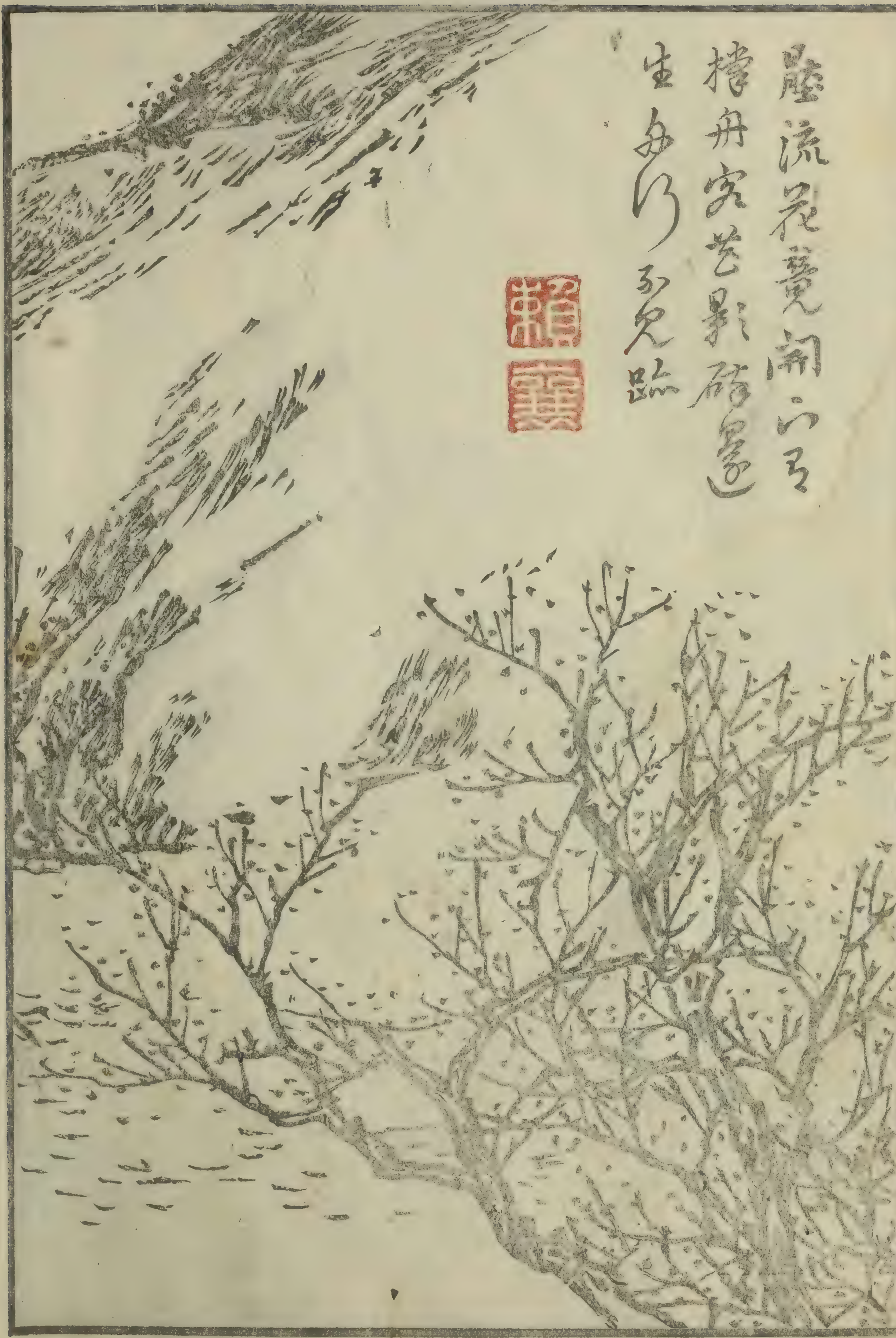


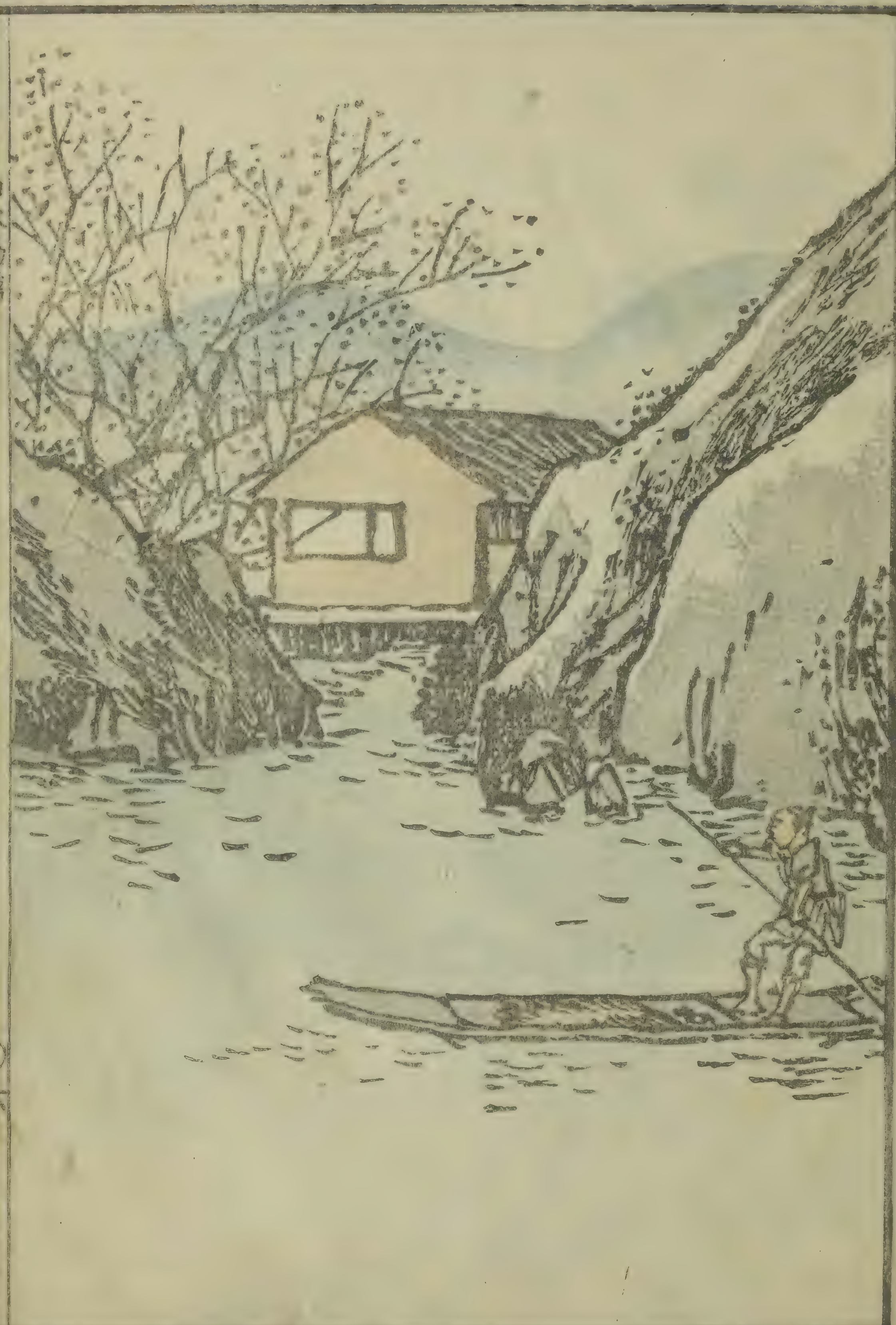










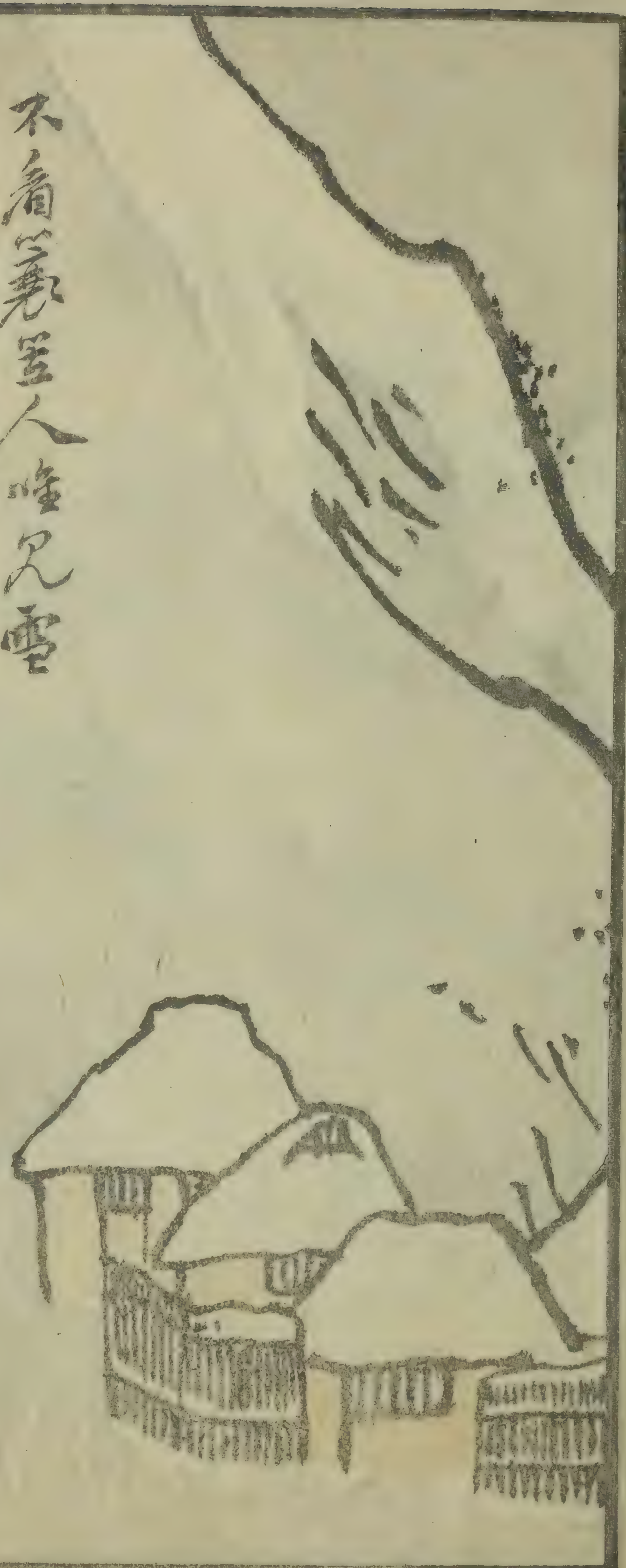





沙際蛇
川水
雁
橋漁舟
高處
日暮
寒湖



不肯蓑笠人唯見雪
要舟盡是江南客
空魚不上鉤











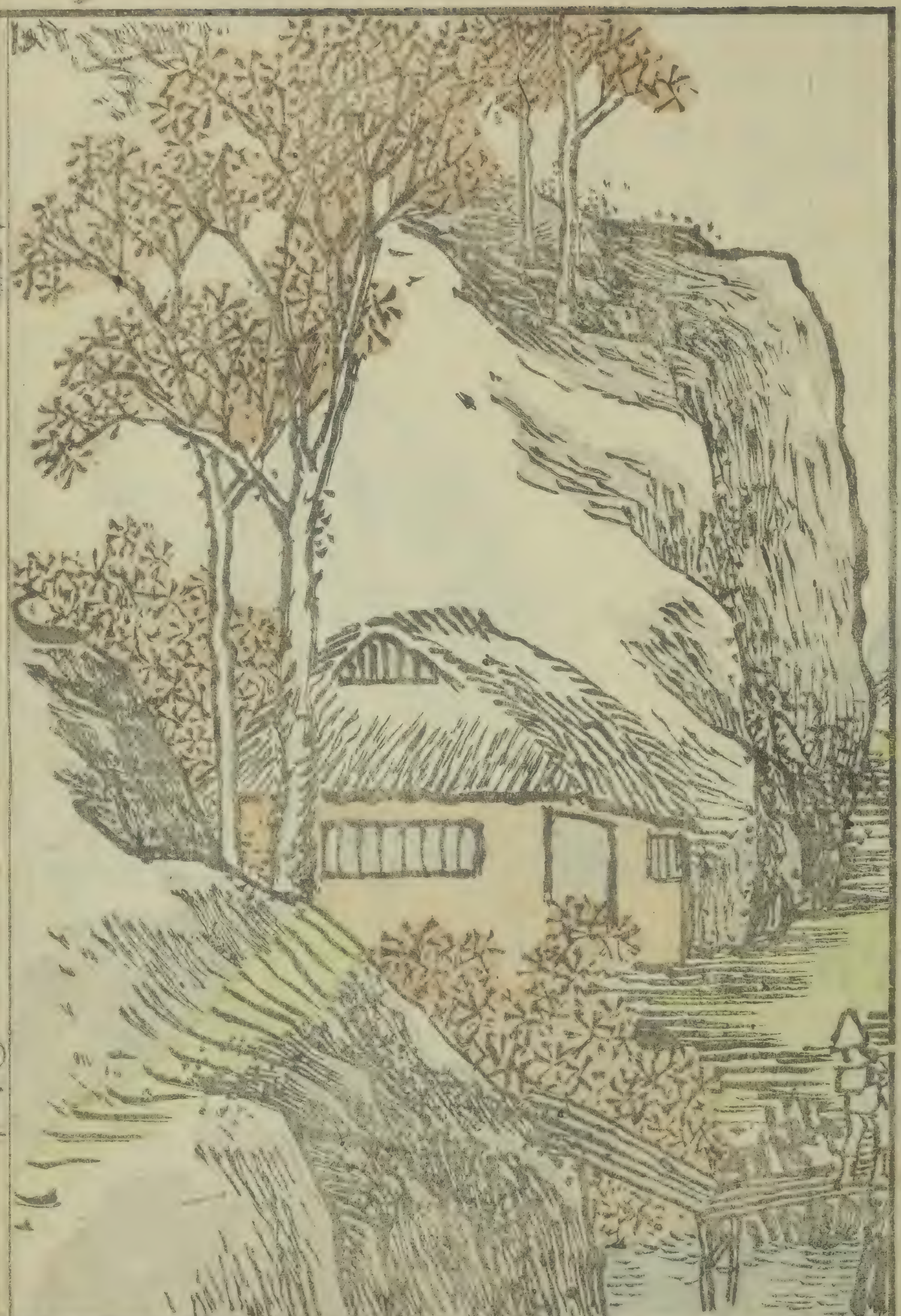


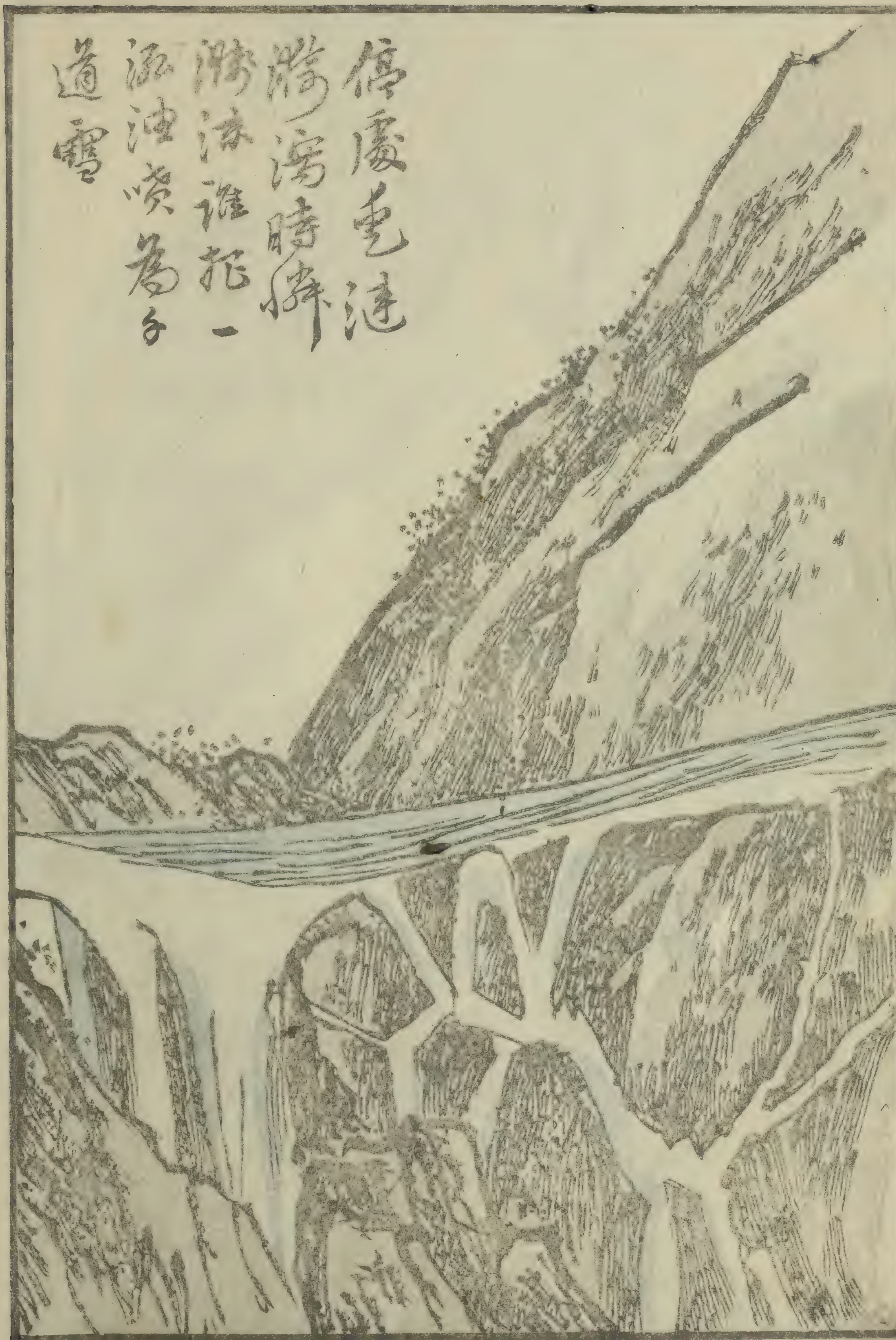








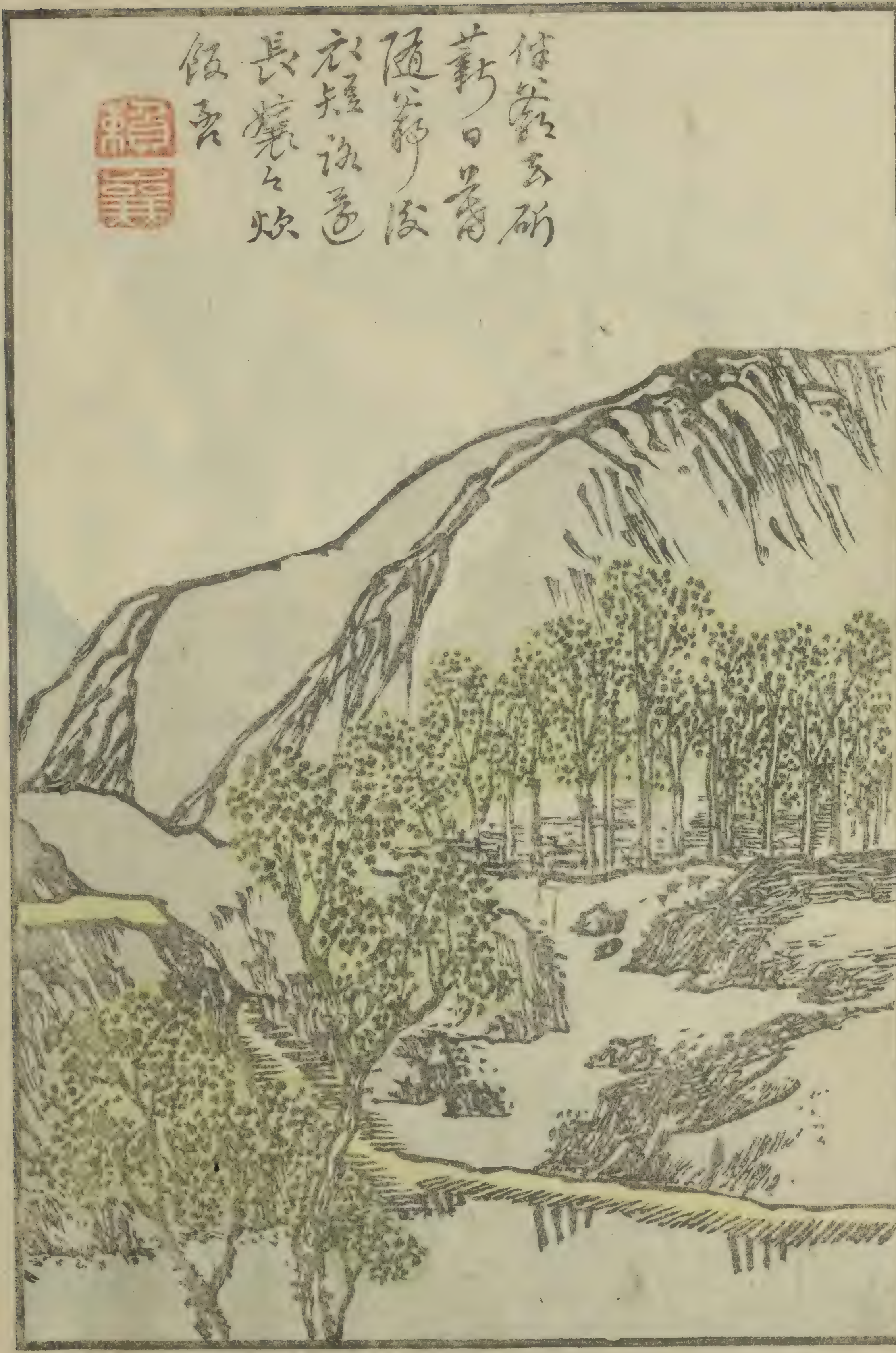












伴谿去斫
薪日暮
隨谿渡
衣短汲遠
長歌々炊
飯香













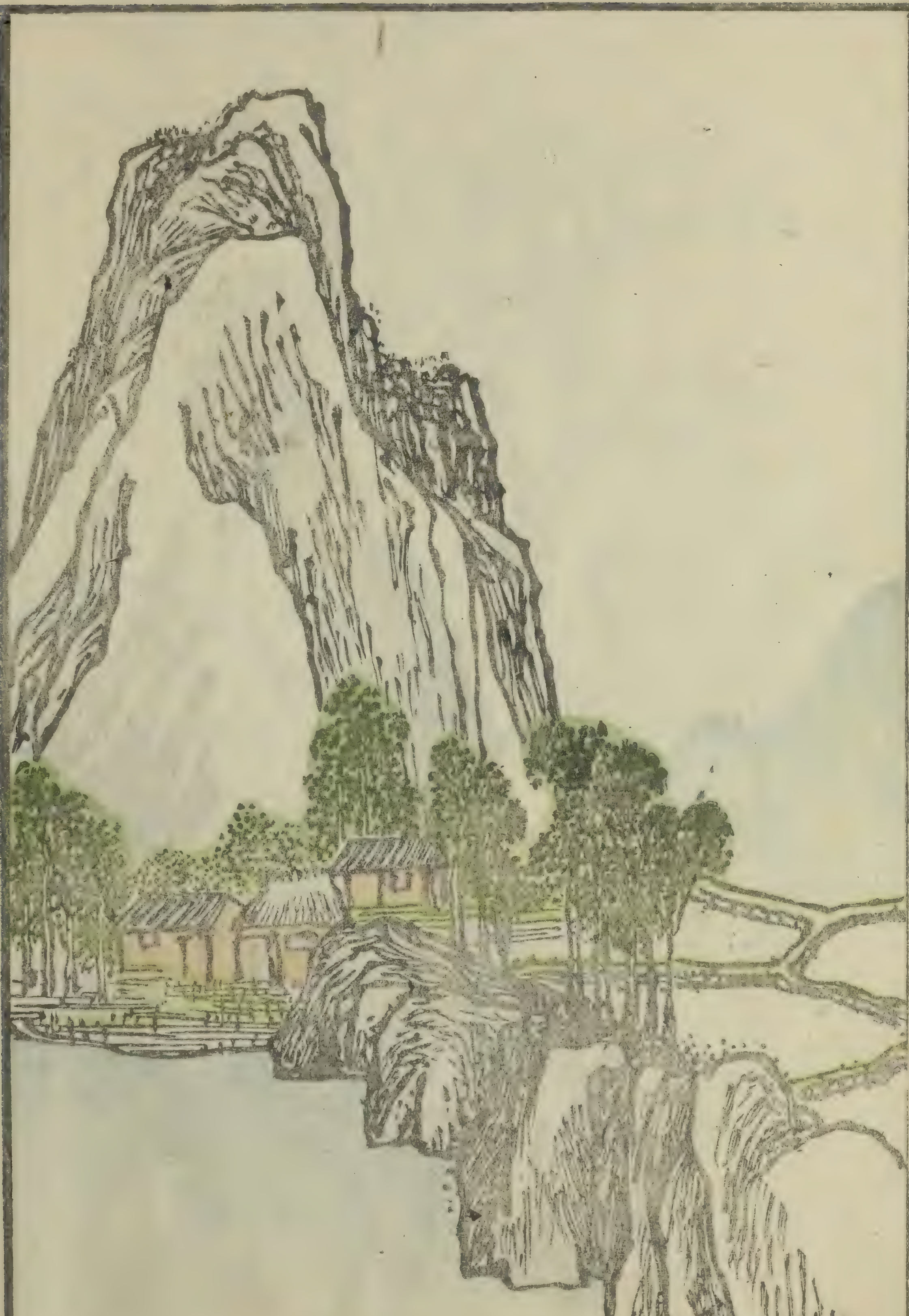












畫筆秋毫末
遊蹤春夢間
尖々青欲點
宛是二髻山

山陽外史

賴襄







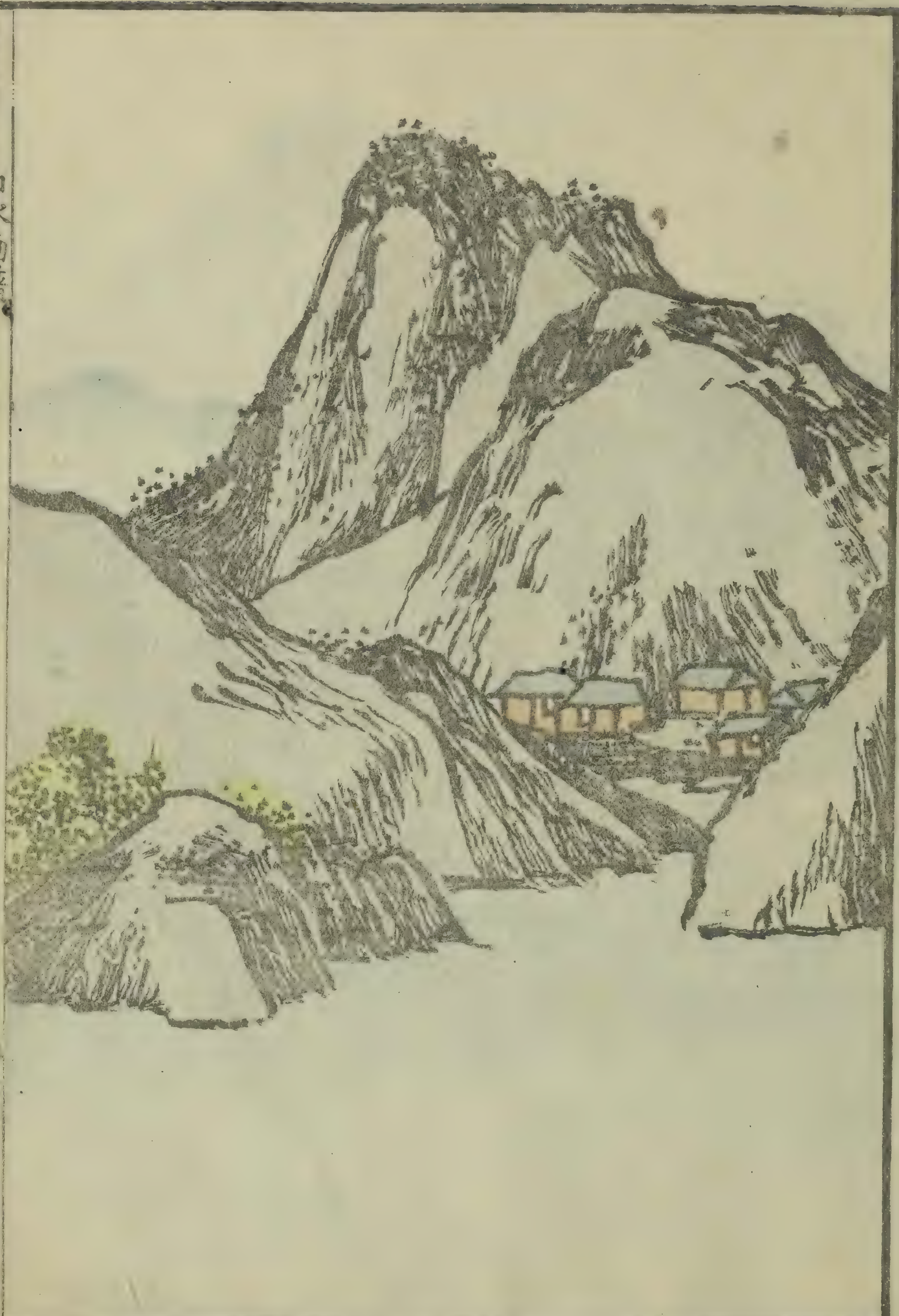














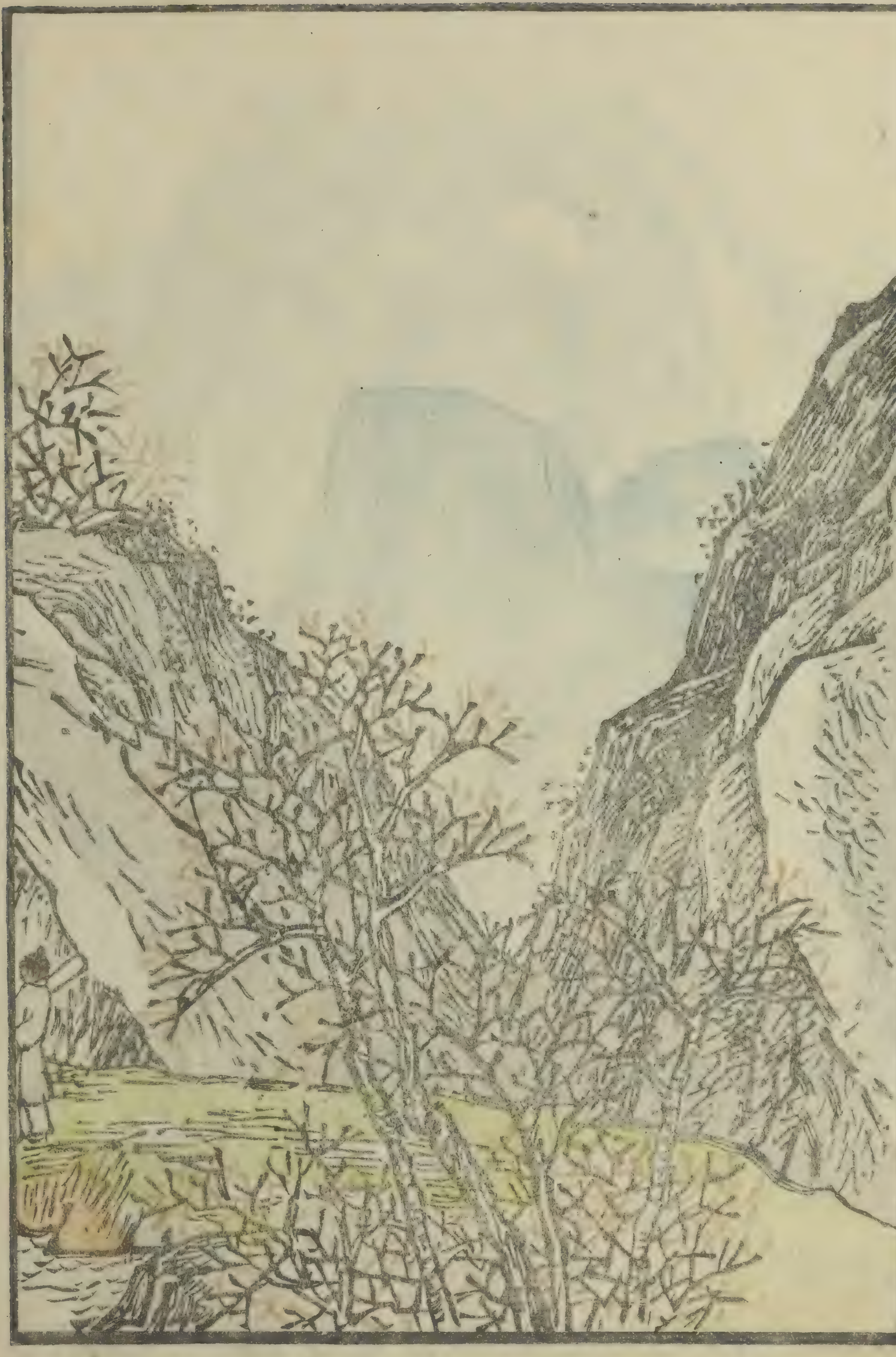


















山鳳先生

右山水畫稿三十頁先人
晚年所製文徵堂畫譜之
〻擇日謹識卷末
琦鳳

文徽堂藏板目録

皇都書林　三条通冨小路西入町　吉田新兵衛

温疫論　明呉又可原本　荻野台州校正　全二冊

同方論　全二冊

同標註　明呉又可原本　黒弘休伯芝標註　全二冊

同類編　清劉松峯評註　日本多紀法眼閲　全二冊

同假名附　近刻　全二冊

同解　平安泰山㬎隠講述　全五冊

此書ハ温疫論ノ大意ヲ仮カナニテ委ク注シタレハ時疫傷寒其外諸熱病ヲ治スルニハイカホト六ケ敷証トイヱトモ其病論ヲヨク解シタルユヱ治療ノ法ニ於テ誤リ勿シム

職原抄参考　全二冊

同首書　全五冊

草書韻會　自漢至金集名家艸書　唐版舶來板行　全二冊

増補醫方朗鑑　藥籠本　全一冊

世ニ医家方彙ノ書アマタアレト古方ニナツミ又後世ニヨリ或迂遠ナル方ヲ多ク出シテ必用ヲカク故ニ病ニノソミテ甚患ル所ナリ此方鑑ハ古今方書ノ中ニテ諸名家効験ノ要方奇薬且鍼灸ノ法マテ祥ニ載テ本書出處ヲ附シ新タニ補フヿ千有余條分量ヲ正シ誤偽ヲ改タル丹家訂正ノ書ナレハ医家必用ノ書ニテ前板医方朗鑑ナルモノトハ天地懸隔ノ違ヒアレハ一様ニ見玉フヿ莫レ方彙中ノ魁タルモノナリ

名家方選　浅井先生著　全一冊

同續名家方選　同門人　村上等順著　全一冊

同方選三編　同門人　平井主善著　全一冊

右ノ書ハ諸名家經驗ノ奇方名方ヲ廣ク集メタレハ難病難治ノ証トイヘトモ家傳ノ良方アマタナレバ治療ノ輔ケトナル医道必用ノ珎書ナリ

四書集註　道春点　全十冊

草彙　自漢至明諸家艸書廣集テ摹勒ス　三嶌竹篏先生輯　全四冊

萬象千字文　篆刻家座右第一ノ書ナリ　廣澤先生書　全一冊

篆書唐詩選　五言絶句　全一冊　七言絶句　全一冊

江村銷夏録　清本ヲ飜刻セシ書画監定ノ書ナリ書画翫弄風流家カナラス見玉フヘキモノナリ　全六冊

萬葉集燈　富士谷御杖著　全五冊

御杖のうしへまうき言霊といへることを神のみしさまへのはしきくはし先哲れかゆゑ詞のつけるさまを神書国史に乱し言霊のはれをうつしくさとしえるは言霊のあやしいかなへるにて未偏のおれぬさとあつしひ実をもて言葉をよくよまる人文ちをまする人へはえずしてかなうべるさえ

趙子昂松雪齋法帖　全一帖
同　竹樓記　同
同　落花詩　同

王羲之黄庭經　全一帖
同　東西銘　同
同　艸訣百韻　同
同　辨格　同

董其昌武帝帖　全一帖
同　清暉閣　同
同　明遠帖　同
同　江邊帖　同

李邕福清帖　全一帖
同　娑羅樹碑　同

歐陽詢離騒帖　全一帖

文徴明千字文　同

祝枝山楷書千字文　同

勢語臆断　契沖師著　全五冊

世に伊勢物語あまたあれども誤多し　その本に契沖師のよく古書を考へ　詳らかに注したれば古学家の梯　和文をまなぶ人は此書にまさるものなし

吉野物語　橘綾足著　全三冊

古体の和文をよくつゞく奈良の代のさまを書かれしも和学家の座右にそなへ学ぶべきものなり

徒然草首書　全三冊

兼好法師のつれ〴〵草に傍注首書をなし和文の心のたよりとす

古今和歌集　圓珠菴　契沖真跡　全二冊

これは古今集をしらべ契沖師の自筆にて　古体の仮名をおもひたゞされて貫之の意に　ならべてたゞしきを正し古今和歌集の注一　ふして此書にまさるものなし　賀茂季鷹翁の云　まなびてかくのごとく此手本となるべし

玉かつま　本居大人著

漫吟集類題　契沖師家集　全四冊

春葉集　東満呂家集　全二冊

中古和歌類題　聴雨菴蓮阿輯　全二冊

續詞花集万代集秋風抄をはじめとして宗家泰隆以後あまたの集より書抜て部類となしたれば　当世の歌よまん人作例をもとめて便とすべし

文苑玉露　同輯　全二冊

此書ハ契沖古翁宣長をはじめ名高き人々のよめるめでたき文をあつめてあまたの人の和文つゞる便りとせしものなり

公事根元抄　後成恩寺関白兼良公御作　全三冊

同　集釋　松下見林注　全三冊

禁中年中の公事を国史諸書を引てその根元をくわしく考へしるしたるもの也

年中行事歌合　全三冊

年中の公事を記しそれ〴〵故実を考るによし

文鳳画譜　全一冊

同　二編　仝

同　三編　仝

右コトゝク人物花鳥山水ヲ交ヘ初心画ヲ学フニ便リヨキ摸本ナリ

文鳳漢画　全一冊

漢土ノ人物數々ヲ麁画ニカキテ初心画ヲ学フニ輔ケトナル画手本ナリ

文鳳山水遺稿　全一冊

世ニ山水ノ画譜多トイヘトモ実ニ先生ノ画山水ニ妙ヲ得タルヿ古人ヨク知トコロシ淡筆ヲ乞テノチ度々ソノ落成ヲ需ト雖トモ老人意ニ進マサレハ果サズ數年ヲ経テ漸ク出来シケル間モナク黄泉ノ人トナリ玉フサレハ末代マテノ遺画實ニ先生ノ情魂コノ画帖ニ止リテ其筆力ノ玄妙ナルヿ筆頭ニ伸カタシ

海道狂歌合　無腸師狂詠　全一冊

左　南岳画　右　文鳳画

海道駅ノ人物ニ狂詠ヲ加ヘテ画手本トス

古秀画譜　全一冊

八田氏一代ノ内最得玉ヒタル画ヲ集メ一帖トス於人物山水花鳥ヲマシヘタレハ文鳳画譜ニ同し

漫画百女　合川珉和画　全一冊

当世ノ婦人ノ姿ヲ面白ク書集メ奥ニ文屋茂喬大人ノ狂文コトゝク画ニアハセカキタレバ画手本ハモトヨリ風流家ノナクサミトナルヘキ書ナリ

通神画譜　合川珉和画　全一冊

凡画譜ニ麁密アリテ密ナレハ習カタク麁ナレハ法ヲ失フコノ画譜ハソノ間ヲ考ヘ初心ノ画法帖ニ備ユル書ナリ

京城画苑　全一帖

同　二編　近刻　同

京師諸名ユノ画トイヘトモ得タルト得サルモノアリ其妙ソナハリタル画図ヲ一人一紙ヅヽ集メタレハ画手本ハ勿論張交トモナリコトニ念ヲ入テ摺タル故摺本トハ見ヘズ筆勢ヲフルヒ書タルカコトクナレバ表具等ニナレ玉ヒテ至極ウルハシク珎宝ナル帖トイヒツヘキモノナリ

同　蔵画　文鳳 南岳 両画　全一冊

琵湖勝景一覧　文鳳山人画　全二冊
八景ハモトヨリ湖水ノメクリ国々ノ勝地遠近ノ風景ヲ唐画ニ写シタルナリ尤神社仏客山水草木鳥獣人物ホソノ中ニコモリテ和漢山水ヲ図シタル書ナリ

帝都雅景一覧　東西　河邑文鳳画　小栗十州題　全二冊

同南北之部　同画　諸先生題　全二冊
都ノ中ニ風雅ナル所々ヲ唐画ノ山水ニ摸シタレハ画法正シキ和漢山水ノ画手本ナリ

禍福任筆　故文鳳山人男琦鳳画　全一冊
三世相ヲ草画トナシタル和人物ノ興アルモノニテ初心和人物ヲカクニヨキ手本也

琦鳳画譜　近刻　全一冊
先生ハ文鳳山人ノ男ニテ山人一生ノ着述ニモレタル花鳥山水人物ヲ集メアラタナル図ヲ立ラヒ山人ノ筆意ヲ得テアラハセル画帖ナリ

余情画苑　諸名家画　全一帖

狂画選　同三帖
右ノ画ハ四季恋雑ヲワカチタレハ詩哥連俳発句狂哥ナドコノ画ヲ題トシ画コトノ始ニカキテ兵ヒ玉フ画帖ナリ前後ノケイノ所ハ漢文和文ノ序跋外題ホヲモコノミニ因テモくし張ベゼニモナリテミヤビニ面白キアソビ艸ナラシカし

楠亭画譜　全一冊

同二編　近刻　同
先生ノ画和人物ニ於テハ実ニ生ケルカ如ナレハ初心和人物ノ画手本ニ備フ

九老画譜　蕪村山人校正　全一冊
蕪村山人随一ノ門人九老山人校正ナレ玉ヘハ其筆意ハ山人ノ骨肉ヲ得タレハ至テ風雅ナル画手本ナリ

列仙画傳　蓼川師宣画　全二冊
仙人ヲアマタ集メ且頭書ニ古代ノ文章ヲアゲタレハ古ヘヲ好ム人ハ所持ナし玉ハヾ古ヘヲ考ルニ便アリ

倭國百女　蓼川師宣画　全一冊
古代ノ婦人ヲ集メ頭書ニ古代ノ文章ヲアゲタレハ古ヘヲ考ルニ大ニ便アリ　師宣ハコレ文政七マテ八九

狂哥詞の海　糠光舘輯　全二冊
狂哥よよむ人の四季恋のれをあつめし
その歌をよみ分て作者の哥をあつむれば其もとを知れる
初心の人狂哥をよみならふ便となれり

同　俗名所坐知抄　糠光舘選　全二冊
狂哥の名所によりて狂哥によめる名所を
あつめ名所のもとをあらはし初心の人詠の便となるべし

同　ゆるかし草　挑李園著　全二冊
狂哥の作よせをしるはかりにて縁語を付し
たすけし初心詠作のたよりに便よくあつむ

同　千種園　得閑斎繁雅撰　全四冊
同　恋雑之部　同二冊
千代のむかしより狂哥とおもしろき詞あれと
其しなく高世に風体よ通し詠作のたよりは
よしたよりしなの歌の品をしなのかぎりをあつめ
あつめ月の歌の名ある月の歌のことをよせ
これをしるし集中してつらねる歌をあつめ
めでたき世の中の歌の狂哥と多く書つけ
先觀なる書にして詠歌のたより
しるす狂哥とよみ出るのまなびの手引となる
とよの中に狂哥家の栞のひとつなり

柳翁類題　懐中小本　全一冊
油煙斎貞柳翁乃狂哥を集め類し初心の便手

後撰夷曲集　全三冊

狂哥類題集　近刻

狂　數家土産　貞柳　全一冊
同　於遠　同　同
同　續　同　同
同　置土産　同　同

狂哥　野中の水　得閑斎繁雅選　全一冊
同　かひこの声　同　同
同　芦の若葉　同　同
同　紅葉集　同　同
同　葉櫻集　同　同

改正内百番　勧世流　全廿冊

茶窓閑話　全五冊

ありのまゝ　全五冊

新選勧善略　全五冊

身体狂じて　全二冊
そゞでとくさ　振坂義堂著　同
五用心懐草　已下同著　同
勧孝こゝせゞや　同
かゝ躰女くゝし　同
立身始末経　同

狂歌手毎の巻　文西屋茂喬　初編より五編まで出来　全一冊

此書は狂歌作者の風体を見るに便りよき作者の狂歌を一人より十首五首つゝと出し校正清書の文通なしにいろいろなる作者までを取り百人より一冊となし彫刻して梓行仕る所也諸方の作者は此巻物十首つゝ出し下さるべく候

六々狂歌選　得尽斎撰　全一帖

三十六歌仙を習ふて今の名家の狂歌を一首つゝ集め狂歌の画帖となし初心の者の手本にも進めなるべし

倭百人一首　同撰　春川五七画　全一冊

此書は名所をよみし名歌狂歌一首を以て江戸の画を入て画本のごとく見る事も自らあるもの也

狂歌伊勢物語　佩香園蘭丸撰　近刻　全一冊

業平の狂歌の名高き伊勢物語を画にしたるものを狂歌に作りし物也

冥運出世伝受　同
福相まね伝受　同
孝行まね伝受　同
金をふやす伝受　同
長命まね伝受　同
安楽まね伝受　同

古の書は皆とりみだし家内和合して安楽をまもる子孫長久の幸ひを引く術を示す也

末年一の書　全一冊
同　心得　全一冊
出しぶつさ　卅　全二冊

大口の書作をする者を戒め人の評判をよくする一助とす

孝子良民伝　全五冊

二十四孝小解　熊沢了介注　全一冊

眠然策　全一冊

善玉先生大通論　文西屋茂喬作　全五冊

為二編童蒙訓　全三冊

出の者を見る書は常の所為を正しくして行ひとなるべきもの也

百人一首　彩色奉書揩箱入　一冊
石井行宣卿御筆
土佐光貞朝臣画
百人一首の画像ハ土佐の家よりかきいだせるが当家ハ有職故実官服のきまりあきらかなり
此本ハ装束衣紋から色合を正してかくことなれば百人画像の亀鑑ともいふべきものなり

同　小倉大全　全一冊
同　小倉百人一首　全一冊
同　金花百人一首　全一冊

女萬葉百人一首千歳録　極彩色箱入　全一冊
同　女今川入　同
同　雛鶴用文姫鏡　同
女三十六歌仙絵抄　同
女今川ゆかと鏡　同
右ハふかくして女子教訓のもとひの手本なり
またみやびやかなる文章をもてしるしたるものなり

女萬宝倭文林　全一冊
女年中用文章　同

釋文童喩　全二冊
遊仙窟抄　張文成　全二冊
元三大師御籤抄　中本一冊　小本一冊
吉凶中ニおもひあたる事を吉凶あらはしてくはしくかいたるもの也
観音経国字解　月桂菴著　全一冊
普門品の文句をわかりやすくあらはしたるもの也
児女をしてこれを読ましむるにわかりやすく
解したれバ信心のもの手にとりてよむべし

中将姫行状記　仮名付　全七冊
同　一代記　ひらがな絵入　全五冊
中将姫ハひばり山にすてられ給ひ
当麻寺にて剃髪ありて極楽の傍をもとめ
まんだらのおりものをつくりたまふ
えんぎを児女のよみやすくせしものなり

按摩手引草　ひらがな　全一冊
あんまをとりの法を師なくして習ふ
やすくおしへたるあんまひきのもの也

文政七年甲申正月發行

皇都書肆

文徽堂

吉田新兵衛藏版

